回覧

猫の飼い主・世話をしている方へ

野外の猫にえさをあげることで、ご近所さんの敷地を糞で汚したり、あなたが気付かない場所で子猫が産まれる元になっている可能性もあります。「迷惑猫」にしないための方法を、猫の特性から考えてみましょう。

✘置きえさはやめましょう

えさをだしっぱなしにすると、周りの野外の猫を一か所に集めてしまいます。気付かない間にカラスのえさ場になってしまうことも・・・

えさをやるなら時間を決め、猫が来たときにだけ出し、食べたら片付けましょう。

※許可を得ていない場所でのえさやりはやめましょう！

☺ 不妊手術は必須です

猫の繁殖力をご存知でしょうか。
年に３回以上の妊娠・出産が可能で、
一度に６匹ほど産まれます。
飼いきれない不幸な命を生み出さないために、
不妊手術を行いましょう。



☺ 室内飼いにしましょう

外にいる猫は、常に危険と隣り合わせです。交通事故にあったり、猫エイズなど不治の病気に感染したり・・・こうした悲しいことを防ぐには、外に出さないようにすればＯＫです。
実は猫は、広い生活空間を必要としない動物なので、室内で幸せに暮らすことができます。

地域ねこ事業

盛岡市は、①エサの管理②フン尿の始末③不妊手術等を行い野外の猫を管理するグループに対し、１匹あたり１万円までの不妊手術費用の助成を行っています（要申請）。詳しくは、生活衛生課（下記）へご連絡ください。

野外の猫にえさをあげると、猫の健康や衛生、繁殖に気を配り、周りに迷惑をかけないようにする責任が生まれます。

その責任をもてない、マナーに反するえさやりはしないでください。

盛岡市保健所生活衛生課　　電話）６０３－８３１２